

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	小売業事業者向けインバウンド集客のための店づくりに向けた取り組み
事業主体 (連絡先)	長野商工会議所 026-227-2428
事業区分	⑥ 産業振興、雇用拡大に関する事業 (特色ある観光地づくり・商業の振興)
事業タイプ	ソフト
総事業費	836,850 円 (うち支援金 : 627,000 円)

事業内容

1. 商店会等と連携した、インバウンド受入等の現状に係るアンケート調査

調査範囲 長野市内小売業、飲食・サービス業 759 事業所

回収状況 283 事業所(回収率 37.3%)

調査期間 平成28年8月25日～9月9日

2. インバウンド集客のための店づくりセミナー

【外国人観光客受け入れのためのお店づくりテーマ別セミナー】

日時 平成29年2月8日～9日 いずれも13時30分開会

場所 長野市生涯学習センター(トイゴ3階第1・第2会議室)

受講料 無料



【セミナー】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. について

長野エリアにおける事業者のインバウンド受入等についての現状を把握する調査は、長野商工会議所が初めて行ったことであり、インバウンドに前向きな姿勢を示す一方、対応・準備が進んでいない現状が判明した。この調査結果を、プレスリリースするとともに、当所HPに掲載し、世に広く周知するに至った。これにより、観光事業者のみならず、小売、飲食・サービス事業者等のインバウンドへの関心および事業意欲が高まるきっかけとなった。

2. について

アンケートの結果を骨子として4テーマに分け実施したセミナー参加者はのべ155人に達し、事業者のインバウンド対策・取り組み・意欲の高まりを支援することができた。

また、セミナー参加によって、クレジットカード・電子マネー・デビットカード等の決済環境導入の検討を始めたお店は6店舗、スマホ・カード決済導入についての勉強会を開催予定としている団体は2団体あり、一定の効果を得られた。

【目標・ねらい】

長野エリアの小売、飲食・サービス業事業者の

- ①外国人観光客の受入状況の把握
- ② " 受入意思の把握
- ③クレジットカード・電子マネー等の使用可否状況の把握
- ④クレジットカード・電子マネー等の決済導入意思有無の把握
- ⑤インバウンド集客のための取り組みを後押しすること

※自己評価【B】

【理由】

アンケート調査により地域の事業者の現状が把握できると同時に課題が明らかになった。またセミナー開催により、インバウンド集客のための事業者の取り組みを後押しすることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

全国的に人口減少が進行する中、今後インバウンドの誘客は地域の活性化を図る上で重要な施策と位置付けられる。長野商工会議所としては本アンケート調査結果を踏まえ、インバウンド受け入れに向け、個々の事業者が意識を高めていくと同時に、外国語への対応や多様な決済方法への対応など、受け入れの障壁となっている課題を検討し解決を図ることで、観光都市長野に相応しい受入れ態勢の充実に取り組んでいく。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- ※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある